

中国語を学ぶ会  
平成20年12月  
第 3 0 号

# 你 好



編集・発行連絡先  
神 山  
電話：33-3177  
FAX:32-5594

## 『お知らせとお願い 21世紀を生き残るため』

会長 中山 明弘



第2回役員会の議事録で、皆様にお知らせ致しましたとおり、昨今の会員激減の中、経済的に会運営が困難になり従来どおりの老師への「講師謝礼金」支払運営体制ではダメになり、皆様からアンケートを募り“各クラス単位で独立採算制”の声により、この制度を導入することに致しました。

NHK並に“皆さんの毎月の月謝はクラス人数分の授業料に、会の運営は年会費500円の「会維持費」で何とかやっていくこととなります。また、1クラスが4名になったときは、そのクラスは他のクラスに編入となり

ますので、何としてもクラスメートを減らさないように、張芝謀監督の映画「あの子を探して（一个都不能少）」の少女魏代用先生のように1名も少なくしないように努めてください。

私たち役員も新しくホームページを開設したり、「広報ひらつか」に掲載依頼したり、新会員の募集に努めます。

ホームページアドレス：

<http://www.manabukai.sakura.ne.jp/>

**请大家上网查询**

なお、新しい役員は次の通りです。

役 職	氏 名	ク ラ ス	役 職	氏 名	ク ラ ス
会 長	中山 明弘	水 曜	火曜役員	今井 英子	火 曜
副 会 長	渡邊 敏行	火 曜	火曜役員	山口 裕子	火 曜
副 会 長	小野寺 登	火 曜	水曜役員	蜂屋 和男	水 曜
会 計	福永 静雄	木 曜	木曜役員	梶浦 貞夫	木 曜
会計監査	小島 享子	木 曜	広報担当	神山 作市	水 曜

※退会者：谷川 功（火曜）大変ご苦勞様でした。

### 若山老師お辞めに

「中国語を学ぶ会」は35周年を迎え、年々会員が減少していく中、若山・李両先生に協力を願って参りましたが、この会の発足とともに永く私達に中国語を教えてくださいました若山老師が、7月にお辞めになりました。厚木より平塚までご主人の車でお出で下さって、

遠いところ大変な苦勞をおかけいたしました。この度ご高齢の為、辞めることとなった次第です。また何かの機会にお招きしたいと思っています。誠に永い間有難うございましたご健勝をお祈りいたします。再見



## 「中国語を学ぶ会」をたどる

鳥沢 光代

「35周年を迎え」会のルーツを知るべく、古い会員の方から聞いたことをまとめました。

発会：1973年(昭和48年)

経過：1972年に日中国交共同声明が出され、その翌年これからは中国語時代と、当時の農業園芸試験場(現在の平塚市総合公園はその跡地)の職員、横浜ゴムの社員、学校の教師などの有志の人達 7~8名で会が作られた。講師は早稲田大学の助教教授に依頼し、会場は当初農業会館、後は松原公民館とした。

当時の中国は文化大革命の最中で、日本にある中国語関係の書籍は文革一色であり、毛沢東語録などを教材としたこともあった。

講師の教授昇格にともない、東海大の先生に代わる。また、会員の中から上達したものが初級者の講師をつとめた。

1980年、中国との国交が回復され、残留孤児の帰国が始まり、東海大の先生の紹介のより残留孤児の方を講師にお願いする。

また東京を中心に中国物産展や雑技団、京劇の上演などがひらかれるようになり、習得した中国語を実践すべく会員同士で出向いた。当時中国語を学習しているグループは少なく、県内の学習グループが一同に会し学習会が開かれることもあった。

中国旅行への参加が自由になったり、中国からの人たちが増えるなど中国の人たちとの交流の機会が増えた。会でも積極的に機会を捉えて会員同士での中国旅行や近くに住む中国人との交流などを行うようになった。

1988年会員の増加により、会則が作られ、会の名称を「中国語を学ぶ会」と決めた。

上級・中級・初級の3クラスに別れ、レベルに合わせた学習を行った。多いときは60余名の会員がおり、クラスをこえて会員相互の親睦をはかり、中国の歴史・文化・風俗習慣を知り、親しむ為の行事を行った。餃子を作る会・バス旅行・忘年会・中央公民館フェスティバル参加(中国語歌の合唱)・中国人講師を招いての講演会や音楽会・映画界など。



昨年5月、健康上、夜間に平塚まで通えなくなり、突然退会させて頂きました。早いものでもう1年になってしまいました。その間、再入学を期待していましたが、現在のところ断念させていただいています。貴殿が情熱を込めて発行していただける「你好」をその後読ませて頂けないのが大変残念です。

1年間教室に通っていないと学習が進歩なく、毎日のNHKラジオかテレビを聞くのが精一杯です。会話や小説を読んでいたときがやはり最適な学習環境だと改めて感じています。それに、同志の交流が大切です。先生の発音を聞くことも、予習、復習もできなくて、そろそろ、こちらで近いところでも通えないかと目下考えています。

「好きこそものの上手なれ」とありますように中国学習への興味を失わないようにしたいと思います。それと中国への旅行も学習への必要度を増しますね。

「学习中国語之会」的同班、那以后、没有什么变化吗！ 旧星期三班 額田 幸也  
去年5月、长时间所在「学习中国語之会」、因为健康的原因、不得不退会,我感到十分惋惜。

那期间、每年都举办的「做饺子之会」、去北京旅行、年末聚会、等等、给我留下了非常深刻的印象。

学习外文、特别是中文、需要非常大的努力、要以「继续能创造力量」「熟能生功」为目标请多多地加油。

今年8月将在北京举办「北京奥运」、大家对北京的关注也非常高、我想借此机会去中国旅游的人也非常多、到时请将「にいはお」的体会告诉我。

最后、祝大家进步!! 这是我的问候!!

貴殿におかれましては、最近中国へ行かれましたか？私も家内と成都、九竜へ7月5日に行く予定で阪急交通に申し込みましたが、四川地震で急遽キャンセルしてしまいました。中国語会話や三国志を読んだりしていましたが、残念です。

家内が一度も中国に行ったことがないので、今後また計画したいと思っています。東北地方、大連など、私は思い出があるので、そちらも考えていますが、8月はオリンピックで旅行事情がどうか、オリンピック期間は避けたいほうが良いかも知れませんね。

皆さんにご挨拶と思いまして別紙のように中国語で書いてみました。いろいろ苦勞し、時間がかかってしまいましたが、不完全ながら間違いなど日本人が書く中国語として容赦していただければ、「你好」でごあいさつさせていただきます。幸いです。

付記：私のメールアドレス

nuka941@muse.ocn.ne.jp

日本語訳：「中国語を学ぶ会」の皆様、その後お変わりありませんか。私は昨年5月今まで長くい世話になった「中国語を学ぶ会」を健康上の都合で退会しなければなくなり、大変残念です。

その間、毎年行われる「餃子を作る会」を始め、北京旅行、年末忘年会などは特に印象に残っています。中国語をはじめ、外国語を学ぶことは大変な努力が必要ですが、「継続は力なり」「熟能生巧」などを目標にしてがんばってください。

今年は「北京オリンピック」が8月に行われ、中国への関心も高まっています。これを機会に中国旅行される皆さんも多いと思います。また「你好」で体験談を聞かせてください。では皆さんのご発展をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。旧星期三班 額田 幸也

# 恐妻家は「気管支炎」

李老師

ある日、会合の後で中国の友人に飲みに行こうと誘われ、「カミサンに今日は早く帰ると言っているの」と断ったら、「お前は気管支炎にかかっている」と言われてしまいました。

「気管支炎」は中国語で“气管炎 qìguǎnyán”と言いますが、この発音が“妻管严 qīguǎnyán”つまり「妻の管理が厳しい」と似ているので、「かかあ天下」「恐妻家」の人をからかって“气管炎”と言うのです。

“他是公司里有名的气管炎。tā shì gōngsī lì yǒumíng de qìguǎnyán”（彼は会社でも有名な恐妻家だ。）のように使われます。

「恐妻家」のことを“怕老婆 pà lǎopó”ともいいます。この語は「動詞+目的語」の構造で、“怕”は「怖がる」「恐れる」の意の動詞です。“老婆”は決して日本語の「ろうば」ではなく「女房」という意味です。ですから中国語では80歳の“娘”もいれば、20歳の“老婆”もいるわけです。“娘”は「むすめ」ではなく「お母さん」という意味であることは中国語学習者にとっては常識ですね。

「夫婦」は中国語でも“夫妇 fūfù”あるいは“夫妻 fūqī”と言いますが、“两口子 liǎngkǒuzi”という語もあります。結婚当初は“恩爱 ēnài”（仲がいい）であった“两口子”もだんだん原義の“爱人 àirén”（元来は文字どおり「愛する人」の意ですが、配偶者を指す語として一般的に使われています）の意味が薄れていき、“第三者 disānzhě”（不倫の相手）が現れるということも道德観念が転換期にある現在の中国では珍しくないようです。

そうなる“吃醋 chīcù”（やきもちを焼く）どころではなく離婚にまで発展するケースもあるでしょう。

中国では親しい人同士が顔を合わせた場合、“你好！”とは言わず、“上班啊！shàngbān a！”（出勤ですか？）などと声をかけるのが普通のあいさつです。その代表的なものが、“吃饭了吗？chīfàn le ma？”（ごはん食べた？）です。このあいさつ用語については、「中国人は食に異常な関心があるからだ」とか「昔は中国ではなかなか3度の食事にありつくことができなかったからだ」とか諸説があります。しかし食事ときには日本でも「めし食べた？」と言いますから、べつに中国独特のあいさつとは限らないと思うのですが、とにかく伝統的なあいさつであるとされて来た“吃饭了吗？”が、今では“离（婚）了吗？lí (hūn) le ma？”（別れた？）にその地位を奪われてしまったと言われるほど“離婚率”が高まっているのです。



## 編集を終えて

原稿が集まり次第発行とのことで夏・冬に皆さんより原稿を。春・秋2回の発行を計画しておりましたが、今年の夏は激暑で北京オリンピックが終了したら、その感想等で原稿が多く集まるかと？ダメでした。感動が強すぎたのか。10月に3名ほどの原稿で・・・と思いましたがところ長年世話になった編集の

神山さんが急に入院となり急遽渡邊さんに。

大分遅れましたが第30号発行。皆さんからの原稿が集まらなければ発行できません。3クラスで会員相互の一体感が乏しいので、一人でも多く自由に、趣味、意見、詩、俳句など書いて頂ければありがたいと思っています。  
中山

## お知らせ：

1、11月の「広報ひらつか」で当会を紹介していただき、3名の方が入会されました。

- |          |      |       |
|----------|------|-------|
| ①大野 祝宣さん | ふじみ野 | 火曜クラス |
| ②石川 陽子さん | 錦町   | 木曜クラス |
| ③中島 好光さん | 纏    | 木曜クラス |
- 以上よろしくお願ひします。

2、E-Mail アドレスをお持ちの方はお知らせください。Yahoo グループを利用して「中国語を学ぶ会」会員への情報提供・相互情報交換の場としています。現在9名の会員が登録されています。携帯メールでも可能です。渡邊まで連絡をお願いします。

尚、Yahoo グループの登録方法は別紙用意しておきます。

3、「にいはお」は創刊号から全て会ホームページにあります。是非ご覧ください。



上海雑技団

北京 京劇



北京雑技団

